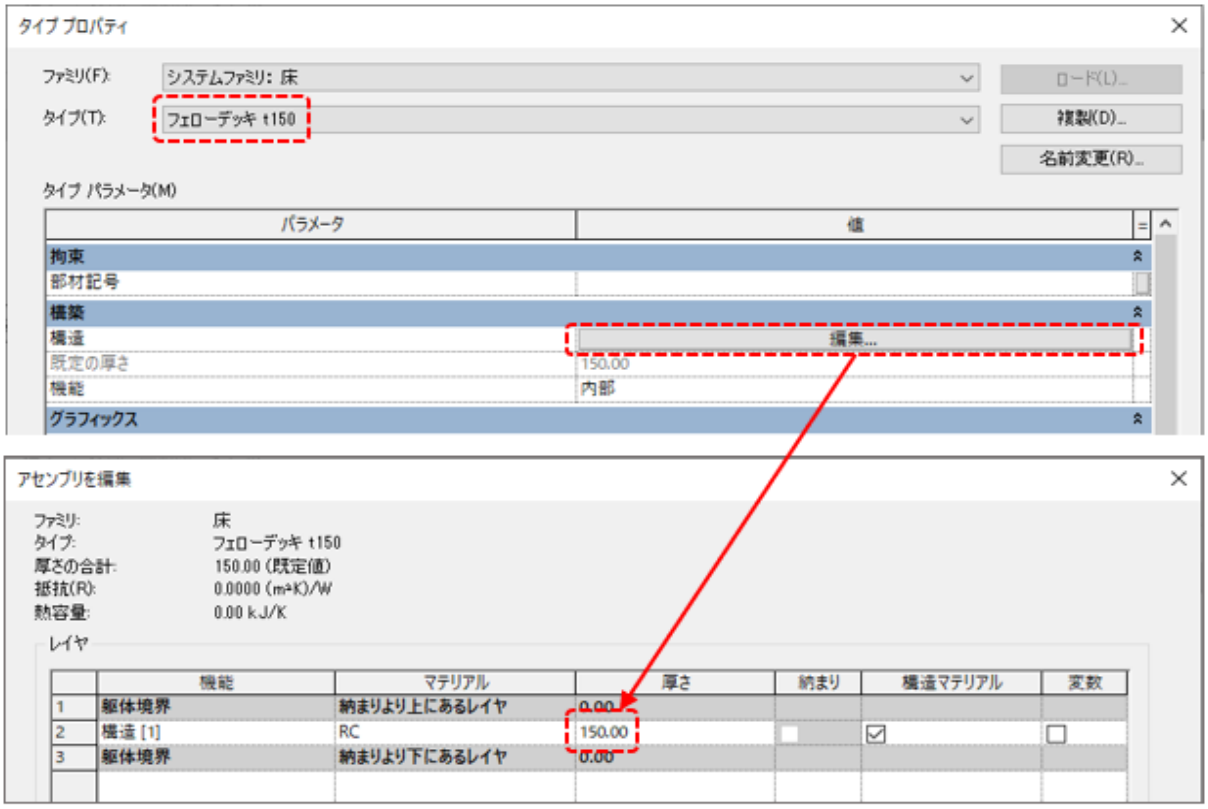
BooT.oneでのモデル表現と詳細表現

■概要

BooT.oneでのモデリング表現と詳細表現についての指針を紹介します。
BooT.oneでは、部材モデルとして詳細な作りこみはせず、ディティールシート(詳細図)や注釈にて表現します。
モデル表現と詳細表現の参考を下記に記載します。

■モデル表現

例えばフェローデッキなどの場合は、モデリングでは床の名称と厚みなどでタイプ名を設定し、タイププロパティにて厚みやマテリアルを設定したものを使用します。型番などはパラメータに入力し、タグで表示できるように設定します。



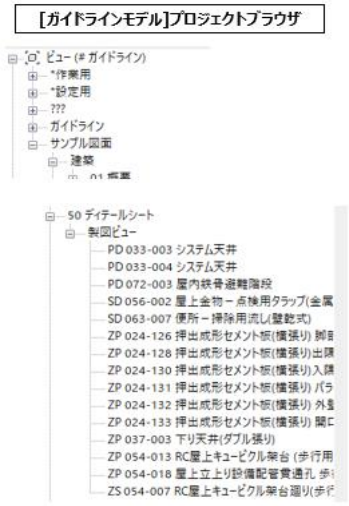
■詳細表現

モデルで表現しない詳細な納まりについては、下記方法にて表現します。

1.) ディテールシートを作成して、別途詳細を表現する方法
①[表示]タブ → [作成]パネル → [製図ビュー]にてディティールシート(詳細図)を作図 ※1
②詳細図のビューを開く
③[表示]タブ → [シート構成]パネル → [ビュー参照]ツールをクリックして、作成した製図ビューのビュー参照記号を配置する ※2
④①で作図した製図ビューは部分詳細図のシートに配置する ※3

■詳細表現のつづき

※1 ディティールシートの設定見本は
ガイドラインモデル → プロジェクトブラウザ → ビュー → サンプル図面 → 建築 → 50 ディティールシートをご参照ください。



※2 ビュー参照の記号の配置方法はトレーニング動画　建築 詳細編 → 断面詳細 → ②注釈 → 3番目の動画をご欄ください。

※3 部分詳細図の見本は
ガイドラインモデル → プロジェクトブラウザ → シート → 実施図 → 5001 部分詳細図(1)のシートをご参照ください。



2.) 断面を2次元のみで表現する方法
断面表現をしたい場合は、[注釈]タブ → [詳細]パネル → [コンポーネント▼] → [繰り返し詳細コンポーネント]ツールを利用して、必要な箇所に2次元表現を配置する方法がございます。
詳細コンポーネントについてはRevit標準の機能のため、オートデスクヘルプをご活用ください。